

令和8年度 学校経営の概要

1 学校教育目標

「夢いだき 花を咲かそう 東由利の子」
～ よりよく生きる力を～

2 学校経営の基本方針

地域に開かれ信頼され、地域と共に歩む学校を基本とし、保護者・地域の願いを尊重するとともに、保・小・中の連携を一層強め、発達の段階に応じた教育活動を意図的・計画的に行っていく。

小規模校であることを強みとして、66名の児童一人一人に20名の教職員全員が寄り添い、支え、よさを伸ばしていきたい。そして、一人一人の成長が学級（学校）全体の成長につながり、学級（学校）全体の成長が一人一人の更なる成長につながるという好循環が生み出されるよう、教育活動の充実を図りたい。

(1) 目指す学校像 「一人一人が生き生きと輝き、笑顔あふれる学校」

「一人一人が生き生きと輝く」のは、一人一人が自分のカラーを大切に磨きながら成長するときである。また、「笑顔があふれる」のは、お互いのカラーを尊重し合いながら、楽しさや居心地のよさ、達成感を感じるときである。

令和8年度は「ハッピースマイル」をテーマとし、子どもも教職員も生き生きと輝き笑顔があふれ、ハッピーな気持ちをたくさん味わえるような学校を目指していく。

(2) 目指す子ども像 「『花を咲かそう』を合い言葉に、 夢を抱いて、伸びようとする子ども」

① 知の花を咲かせる子ども 学びに向かう力

- ・よく読み、よく聞き、よく考えて“問い”を発し、豊かに表現できる子ども
- ・「分かった」「できた」を実感し、学びに向かう力を高める子ども

② 創造の花を咲かせる子ども チャレンジする心

- ・創意工夫し、何事にもチャレンジする子ども
- ・めあてをもち、夢や目標に向かって努力する子ども

③ 絆の花を咲かせる子ども さわやかなあいさつ

- ・明るくさわやかなあいさつができる子ども
- ・互いのよさを認め合い、なかよく助け合う思いやりのある子ども

(3) 目指す教師像

① 知の花を咲かせる教師 ※教師が最大の環境

- ・子ども一人一人に学ぶ楽しさ・分かる喜びを味わわせ、学力を伸ばす教師
- ・自ら研修を深め、豊かな人間性と深い使命感をもって自己を高める教師

② 創造の花を咲かせる教師

- ・子ども一人一人のキャリア発達を促す活動を意識して実践する教師
- ・課題克服の意識をもち、チャレンジと夢のある教育活動を工夫する教師

③ 絆の花を咲かせる教師

- ・子ども一人一人との良好な信頼関係を築き、よさを伸ばす教師
- ・仕事に責任と誇りをもち、保護者・地域社会・同僚から信頼される教師

3 経営の重点と主な施策 ※最重点は(1)

(1) 知の花を咲かせる授業実践

- ①児童の実態に応じて単元構成や授業展開を工夫し、学びに向かう力を高める。
- ②少人数のよさを生かしたきめ細かな支援や、「分かった」「できた」を実感できる場の工夫を通して、基礎学力及び学習意欲の向上を図る。
- ③日常的な言語活動の充実と、児童にとって必要感のある学び合いを通して、表現力を育成する。
- ④ICT機器の効果的な活用を推進する。
- ⑤学校図書館の利活用を推進し、読書の習慣化を図る。

(2) 創造の花を咲かせる体験活動の充実

- ①キャリア教育の視点を重視したふるさと教育（地域の素材や人材の活用、栽培活動等の体験的活動）を通して、夢を育む活動の充実を図る。
- ②児童の思いや考え、創意工夫を生かした活動を展開し、チャレンジしようとする心を育む。
- ③体育的行事の推進により、運動に対する意欲や体力の向上を図る。

(3) 絆の花を咲かせる主体的活動の推進

- ①学級活動、児童会活動、縦割り活動の充実を図り、自己存在感・自己肯定感・自己有用感を高める。（一人一人が活躍できる学級・学校づくり）
※事前指導で自信を付け、事中の活動を見守り、励まし、事後指導で意味付け、価値付ける。（任せて、ほめる。）
※生徒指導実践上の四つの視点（自己存在感の感受、共感的な人間関係の育成、自己決定の場の提供、安全・安心な風土の醸成）を生かす。
- ②「あかるい笑顔で いつでもどこでも誰にでも さきに つづける あいさつ運動」を推進する。

(4) 地域に開かれ、信頼される学校づくりの推進

- ①コミュニティ・スクールの機能を生かし、学校・保護者・地域連携による学校運営を推進する。
- ②PTA活動や日常的な情報交換を通して保護者との連携を図り、信頼関係を構築する。
- ③保・小・中の連携を一層推進し、15年間で目指す姿の共通理解を図る。
- ④地域素材を活用した豊かな教育活動の展開、地域行事への参加等を通して、開かれた学校づくりに努める。
- ⑤積極的な情報発信に努める。（学校報・学校HPの充実等）

(5) 協働的な研修の充実と働き方改革の推進

- ①初任者研修や校内授業研究会に全員で関わり、質の高い授業を目指して共通実践に取り組むことで、授業力の向上を図る。
- ②学団部の連携を強固にしながら教育活動を推進し、学校全体の教育力の向上を図る。
- ③教師力を磨こうとする意欲を高め、働きがいを感じられるよう、お互いに気持ちよく働くことのできる職場環境づくりに努める。
- ④スクラップ&ビルドの視点（「やめる」勇氣）を常にもち、計画的な授業カットや教育課程の見直しを通して、放課後の時間確保に努める。

4 学校経営の基本構想

